



# ITSの目指す理想の高度交通 社会に向けての取り組み

DENSO's Approach to Contribute to ITS

常務取締役

電子機器事業グループ長 伊藤重彦

Shigehiko ITO

いつでも行きたいところへ自由に移動できる便利な手段としての自動車は、道路インフラの整備と自動車そのものの性能向上、機能の充実により私たちの生活の中で重要な役割を果たしている。しかし、高速で移動する閉じられた空間の中に拘束されることによる疎外感からの開放と自動車の数そのものの増加による交通渋滞の緩和または解消は、特に密度の高い都市部で喫緊の課題となっている。

これらの問題を全世界的な問題として政・産業界あげて解決に向けて取り組み構築しようとしているシステムがITSである。

ITSでは自動車だけでなくすべての輸送手段が含まれているが、デンソーはこれまで自動車の分野でナビゲーション、自動車電話、ETC 端末等の開発をとおり、ITSの普及促進の一翼を担ってきた。

新しい世紀を迎えて、私たち技術者には一層のITS開発のスピードアップへの貢献が求められている。ITSの中でキーとなるのは“情報”であり、いかに高度な価値のある情報を早く的確に伝えるかに知恵と工夫が求められる。これまで自動車への情報の伝達が直接的な運転者への利便性をもたらすことから注目されてきたが、テレマティックシステムでは自動車からの情報、すなわち自車位置や周囲温度、スピード、ダイアグノーシスなどの情報発信が重要な役割を持つてくるだろう。

車に搭載された各種のセンサやECUは、車内ばかりでなく外界とも高度にネットワークで結ばれ運転者に的確な情報を提供するとともに周囲の情報を自動的に発信し渋滞予測に寄与したり、また非常時には適切な支援が得られることになるだろう。

このような環境変化のなかで私たちデンソーの技術者は、従来の自動車部品の開発をベースにした仕事の枠だけでなく、その部品とITSネットワークとのつながりを視野に入れた仕事へと範囲を広げていく必要がある。このことは各技術者が開発中の部品あるいはシステムが持っている情報がどんな所に役立つかを考え、ネットワークからもたらされた情報を利用して自システムをより安全に、より便利なものに高めるかを考えることである。

ITSの進展が我々技術者に与える影響には次のようなものが考えられる。まず部品設計にとってはネットワークに送出する情報に、より高い信頼度が求められる。また車内LANの構築にあたる技術者は、いくつかのプロトコルが共存する複雑なネットワークにおいて、それらを利用する技術者に判断ミスを生じないように正確に指令を発信しなければならない。

次に様々な通信手段によって情報がやりとりされるようになるが、今までの車内という閉じられた環境から外部のネットワークへと広がることによって、情報そのものの信頼性を考慮した新しい概念のフェイルセーフが必要となってくると思われる。

最後にネットワークの広がり、そこにつながるユーザーとの新しい関係が発展する可能性を秘めている。例えば、ユーザーと直接アクセス可能なことによる市場サービスの向上が考えられる。また、このようなサービスネットを利用して新たなサービスを提供するビジネスモデルを構築できるチャンスが我々の関連する分野に出てくるのである。

今回のITS特集では、これを構成するいくつかの新技术と新しいビジネスについて述べている。我々はカーエレクトロニクスのトップメーカーとして、技術の総力をあげて高度交通社会の実現に貢献していきたい。